

# 宮城県林業普及活動情報

2023. 7月号 No. 182

## もくじ

### 各地の林業普及活動情報

P 2~12

- こけし用木材調達に係る支援 (大河原地方振興事務所)
- 「木育」×「木食」プログラム(箸づくり体験)の実施 (大河原地方振興事務所)
- 森林経営管理制度に係る伴走型支援打合せ (大河原地方振興事務所)
- 県行造林地の返地後の森林施業打合せ (大河原地方振興事務所)
- 外来カミキリ虫「ツヤハダゴマダラカキミリ」の被害調査を実施 (仙台地方振興事務所)
- 名取市林業振興事業推進協議会研修会で森林整備の方針を説明 (仙台地方振興事務所)
- 宮城県産材を使用した木エワークショップの開催 (仙台地方振興事務所)
- 大崎森林組合推進委員への補助事業活用等の働きかけ (北部地方振興事務所)
- 竹林の効果的な整備について検討 (北部地方振興事務所)
- 森林経営管理制度大崎地域圏域推進会議を開催 (北部地方振興事務所)
- コケリウムコンテスト・ワークショップ開催のPR活動 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 苗畑実態調査への協力 (東部地方振興事務所)
- 多様な主体による森林づくり支援 (東部地方振興事務所)
- 森林経営管理・森林経営計画策定に係る打合せ (東部地方振興事務所)
- 「みんなの森林づくり事業」現地指導について (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 「FSC-FM認証年次審査」支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 津山町森林組合林業体験活動支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 慶応義塾大学中等部への森林林業教育支援 (気仙沼地方振興事務所)
- 気仙沼市産メンマ完成しました (気仙沼地方振興事務所)
- 第60回林業教室(チェーンソー)を開講 (林業技術総合センター)
- 林業作業士1年目研修への支援 (林業技術総合センター)
- スマート林業・森林調査講座【初級・GNSS】の開催 (林業技術総合センター)
- 森林・林業デジタルリテラシー向上研修の開催 (林業技術総合センター)

## こけし用木材調達に係る支援

大河原地方振興事務所

【10日(月)】

こけし用ミズキ材の調達について、需用側と自伐型林業に取り組んでいる団体とで要望等、意見交換を行いました。

樹種・時期・必要量・規格等、意見を出し合い情報共有を行った結果、協力者を増やして提供するとともに、事務所としては過去に植栽した国有林の分収林のミズキの状況や伐採等について、森林管理署と調整することとなりました。



【打合せの様子の様子】

## 「木育」×「木食」プログラム（箸づくり体験）の実施

大河原地方振興事務所

【10日(月)】

当所地方振興部で行っている「キャリア教育プログラム」の中の、林業振興部主催となる「木育」×「木食」プログラムを柴田小学校で実施し、全員が安全にホオノキの箸を作成することができました。

カンナの使い方指導や箸の作成支援を行うとともに「森林の大切な働き」や「人にやさしい木材」等のテーマに沿ったパネル説明を行いました。

参加した生徒からは「削るのは大変だったけど無事にできてよかった。」「給食で使いたい。」等の感想をもらいました。



【箸づくり体験の様子】

## 森林経営管理制度に係る伴走型支援打合せ

大河原地方振興事務所

【25日(火), 31日(月)】

今年度、伴走型支援の対象となった白石市及び川崎町において、関係機関による第1回打合せが行われ、6月に行ったヒアリングをもとに、市町の進捗状況や考えを確認後、今年度の目標・業務量を決定し、今後の進め方を確認しました。

今年度の到達目標（それぞれ2地区の森林経営権集積計画の策定）を設定し、関係者で共有することで、今後のスケジュールや必要な事務作業を整理することができ、各市町での取組が一層進むことが期待されます。



【打ち合わせの様子】

引き続き、管内の各市町の進捗状況を確認しながら、経営管理制度実施の推進に向けて支援してまいります。

## 県行造林地の返地後の森林施業打合せ

大河原地方振興事務所

【26日(水)】

丸森町大内の県行造林地について、3工区のうち現在2工区目の売買が行われ、2年後に返地となるため、その後どのように森林施業を行えばいいか、土地所有者の代表者から森林整備課県有林班に相談があったことから、補助金を使用する際に窓口となる当事務所も打合せに同行しました。

全面積の植栽だと、補助金を使用しても、土地所有者の手出しが大きくなりますが、沢筋の条件のいいところだけでも植栽してはどうか、との提案に対して、伐採業者に伐採計画を確認した後、共有林の総会で検討してもらうことになりました。

植栽や森林整備の相談については、事務所が窓口となって、今後も支援していく予定です。



【打合せの様子】

## 外来カミキリ虫「ツヤハダゴマダラカキミリ」の被害調査を実施

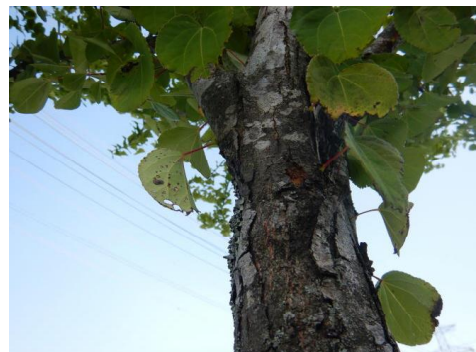
仙台地方振興事務所

【6日(木), 28日(金)】

目撃、被害発生情報のあった箇所の周辺地域の森林の樹木、公園や街路樹として植栽された樹木について被害の痕跡を調査しました。

調査を行った富谷市については、街路樹等でツヤハダゴマダラカキミリのものと思われる脱出孔、産卵痕、フラス等の被害痕跡を複数確認しました。

このことからカミキリの被害は街路樹を中心に拡大していることを確認しました。



【産卵痕】



【排出されたフラス】

## 名取市林業振興事業推進協議会研修会で森林整備の方針を説明

仙台地方振興事務所

【25日(火)】

名取市の共有林などの森林所有者の代表者から構成される林業振興事業推進協議会の研修会が開催され、当事務所から皆伐再造林を中心とした県の方針及び補助制度について説明を行うとともに、管内の林業事業者から森林整備の現状に関する情報提供がありました。

皆伐再造林については、一貫作業システムによる造林や、育林作業の削減によりコストを抑え、主伐時の所有者への還元額を増やすといったメリットと併せて説明し、周知を図ることができました。



【研修会の様子】

## 宮城県産材を使用した木工ワークショップの開催

仙台地方振興事務所

【30日(日)】

宮城県では、みやぎの木づくり運動～身近なところから県産材を使おう～として、「木育」活動の普及を推進しています。

仙台管内で2月に木造新社屋が完成した会社が地域貢献活動の一環として初めて「宮城県産材を使用した“木工ワークショップ”」を開催しました。

7月30日当日は、林業普及指導員が「森のおはなし」を小学生親子の皆さんを前に、「宮城県の木を使って、建物を建てたあと、大切なことは何ですか？」という質問に対し、「木を植えること！」と元気に回答してもらうことができました。

これからも、「木を伐って、使って、植えて、育てる」ことの大切さを知っていただく活動の支援を行って参ります。



【林業普及指導員による「森のおはなし」】



【木工ワークショップ】

## 大崎森林組合推進委員への補助事業活用等の働きかけ

北部地方振興事務所

【11日(火), 12日(水)】

大崎森林組合の推進委員会において、「再造林に係る補助事業」、「森林経営管理制度」等を説明する機会を得て、普及指導員が分担して対応しました。

パンフレット等を使用して説明し、現状を把握していただくとともに、再造林に係る補助事業の概要を理解していただくことができました。

今後も森林組合の協力を得ながら、機会を捉えてPRしてまいります。



【推進委員会の様子】

## 竹林の効果的な整備について検討

北部地方振興事務所

【14日(金)】

当管内の竹林は、密林となっている箇所が随所に見受けられることから、「美しい竹林を整備する会」等が国の交付金事業を活用して竹林整備を進めています。

今回、実施予定箇所での整備方法について現地打合せを実施するとともに、竹の生育密度を測るプロット調査を行いました。

その結果、25㎡(5m×5m)のプロット内に42本が生育しており、1㎡当たり1.68本の過密状態となっていることが判明しました。

今後は、整備の進捗状況を踏まえながら、現場に応じた伐採率の適用について検討していくこととなりました。



【竹の生息密度調査状況】

## 森林経営管理制度大崎地域圏域推進会議を開催

北部地方振興事務所

【20日(木)】

制度開始から5年目を迎え、また、来年度(R6)からの森林環境税の課税開始を控え、制度に基づく森林整備がより円滑に進むよう、大崎地域圏域推進会議を開催しました。

会議では、昨年度から開始した「市町村モデル支援(伴走型)」の取組状況を説明したほか、「課税開始に向けた広報活動」等を議題としました。

意見交換の場では、「森林所有者の中には、市町村に森林を奪われてしまうと誤解して



【会議の様子】

いる方が少なからず存在する。」「所有者不明森林があるために、効率的な森林整備ができない団地になっている区域がある。」等の悩みや課題が出されたことから、これらへ対応しながら森林整備が円滑に進むよう、引き続き指導・助言を行います。

## コケリウムコンテスト・ワークショップ開催のPR活動

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【10日(月), 11日(火)】

栗原地域では、これまで苔に関する様々なイベント等を通して、苔ビジネスの創出を模索・支援してきましたが、本年度は年齢層を広げて苔の魅力を発信することとし、8月11日・12日の両日、栗原市在住の小学生を対象とした「くりはらdeキッズ・コケリウムコンテスト・ワークショップ」を開催することとしています。

このコンテスト・ワークショップは、泉青年会議所が主催する「杜のコケリウムコンテスト」のサテライト会場として開催されますが、そのPR用チラシが完成したことから、栗原市の各小学校を訪問し、児童へのチラシの配布を依頼しました。

このワークショップへは、チラシ掲載のQRコードから予約フォームにアクセスし参加することとなりますが、ワークショップでは、講師の指導を受けながら苔のテラリウム(コケリウム)を作成し、完成作品の画像を主催者に送信してコンテストにエントリーし、他会場からの応募作品と合わせ画像審査が行われ、各賞が選考されます。

そのほか栗原地域では、来年1月に未就学児を対象とした「苔キャラぬりえコンテスト」、写真愛好家を対象とした「苔だけの写真展」を企画するなど、対象者を広げながら苔の魅力を発信していくこととしています。

**杜のコケリウムコンテスト 2023**

今年も「ピン」の中にあなただけの緑の世界を創造しよう!

ネイチャーアートの泉(杜のコケリウムコンテスト)第9回大会を開催いたします!  
杜の都を中心に、素晴らしい作品とその魅力が大集合。自由な発想と確かな線に彩られるこの機会をぜひお見逃しなく!

**賞状等**

賞状等  
賞状等  
賞状等

**観覧券**

観覧券  
観覧券  
観覧券

**観覧券**

観覧券  
観覧券  
観覧券

**ワークショップ 開催場所** 様々なコケリウムが作れるコーナーも設けます!

**泉のこがね** 7月10日-8月30日 9:50-16:00

**七北田公園 都市緑化ホール** 8月15日-27日 9:50-12:00

**水原屋RITZ** 8月11日-12日 10:00-12:00

**栗原山麓ジオパーク** 8月11日-12日 13:00-15:00

【チラシを栗原市の小学生約2,500人に配布】

## 苗畑実態調査への協力

東部地方振興事務所

【4日(火)】

林業種苗の安定的な需給調整を目的として、管内の苗木生産者（2圃場）の実態調査に協力しました（調査主体：森林整備課）。

調査結果では、概ね良好な生育状況がみられたものの、今期は春から高温が続き、発芽管理や灌水など、より一層のこまめな手入れが必要だったこと、山側からは少花粉スギの注文が多くなっており、ニーズに応じた種苗供給も急務である、などの意見が聞かれました。



【苗畑現地調査の状況】

## 多様な主体による森林づくり支援

東部地方振興事務所

【11日(火), 14日(金), 25日(火)】

「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」により、間伐作業や竹林作業に自主的に取り組む7団体を事務局（県緑化推進委員会）とともに訪問しました。

事業推進に向け、支援対象の内容や作業記録の留意点などについて説明するとともに、現地では、着手前の現況などを確認しました。

なお、全国的には、当事業による不慮の事故が発生していることから、安全な作業を最優先に進めることをお願いしました。



【活動団体との打合せ状況】

## 森林経営管理・森林経営計画策定に係る打合せ

東部地方振興事務所

【27日(木)】

管内市町が進める森林経営管理制度について、当所が伴走型で支援する町を訪ね、支援の方法を確認するとともに、町有林の森林経営計画についても策定作業を支援しました。

森林経営管理制度の集積計画については、今年度に取りまとめる地域のひな形を当方で試作し、課題を次回検討することになりました。また、森林経営計画では、具体的な間伐計画箇所を決定し、必要に応じて現地確認を実施していくことになりました。

いずれの作業も、今後とも月例で作業打合せを行うことで、着実な進捗を図ることにしています。



【計画策定作業の状況】

## 「みんなの森林づくり事業」現地指導について

東部地方振興事務所登米地域事務所

【14日(金)】

登米市東和町米川をフィールドに竹林の整備を計画している「美しい竹林を整備する会」の現地指導が行われました。昨年度に実施した隣接地の計画箇所ではモニタリングの箇所選定や方法等について指導し、理解が深められました。



【現地指導の状況】

## 「FSC-FM認証年次審査」支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【27(木), 28日(金)】

登米市森林管理協議会ではFSC-FM認証を取得してから7年目を迎え、年次審査が実施され、FSCの原則と規準に照らし、3名の審査員による厳格な審査が行われました。審査の結果は約3ヶ月後に判明する見込みですが、登米市の森林・林業の振興には不可欠な取り組みであり、登米市森林管理協議会の構成員は、今後もより良い山づくりに取り組む決意を新たにしました。



【現地審査の様子】

## 津山町森林組合林業体験活動支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【20(木)】

津山町林業研究会が古川工業高等学校建築科生徒に実施する林業体験を支援しました。

林業体験は、昨年度同高の生徒が植栽した森林の下刈りで、手鎌により実施しました。作業終了後、木材生産や建材としての木材の特徴、森林認証制度等に関する講話を行いました。生徒から木材がどのように生産されているのか知ることができたとの感想があり、森林の育成について理解を得ることができました。



【林業体験の様子】



## 慶應義塾大学中等部への森林林業教育支援

気仙沼地方振興事務所

【11日(火)】

南三陸町と慶應義塾大学は、お互いに有する森林資源を活用し、地域社会及び教育・研究の充実と相互の発展に寄与することを目的に連携協力に関する協定を締結しています。

今年度からは、協定の一環として中等部の森林教育(計3コース)が開始され、学習支援を行っている南三陸森林管理協議会と協働し、学校林の登山及びMY箸づくり体験にの現地支援を行いました。

生憎の天気でMY箸づくり体験は中止となってしまいましたが、座学として学校林の設立経緯や学校林も認証されているFSC認証材のPR活動など情報提供を行い、FSC認証マーク商品を選んで購入することで、誰でも簡単にSDGsに貢献出来ることを理解してもらいました。



【座学状況】

## 気仙沼市産メンマ完成しました

気仙沼地方振興事務所

【25日(火), 28日(金)】

令和元年度から気仙沼市内の竹林所有者と協力し取り組んでいる幼竹を用いたメンマ作りについて、発酵作業までは実施済みであり、残すところは、昨年度に失敗してしまった乾燥工程のみとなっていました。

なお、昨年度は天候不良が重なり、メンマ自体にカビが発生してしまいましたが、今年度は乾燥時期を吟味し、乾燥状況の確認をこまめに実施したこともあり、約50kgの気仙沼市産メンマが無事完成することが出来ました。

今後としては、試食会の実施等による生産者拡大と販路開拓に向けたマッチング活動をしてまいります。



【メンマ乾燥作業状況】

## 第60回林業教室(チェーンソー)を開講

林業技術総合センター

【6日(木)】

1,570名の林業後継者を輩出してきた標記教室の選択制講座(チェーンソー)を2名の受講生の参加を得て開講しました。

切れ込みの入った丸太を用いて伐木基本動作におけるガイドバーの水平・垂直移動の習得を重点的に行うとともに、チェーンソーの sprocket・ガイドバー・ソーチェンの規定サイズの種類、伐倒方向の錯視の原因について理解頂き、玉切及びロープワークの実技を実施することで知識と技能の相違と反復練習の必要性を教示しました。



【基本動作の反復練習の様様】

## 林業作業士1年目研修への支援

林業技術総合センター

【10日(月)～12日(水)】

県林業労働力確保支援センターが19名の研修生を得て主催する林業作業士1年目研修に関し、「フォレストワーカー研修テキストVo1. 1」に係るカリキュラムの依頼された部分を当所研修棟において講義しました。

教示内容は、1日目が造林・育林・間伐の基礎、2日目が森林情報の基礎と立木調査の方法、3日目がコンパス測量の方法です。いずれの日も知識を補うために実技研修を実施しました。

実技研修は、当所の所管森林内で行いました。1日目がプロットサンプリングと間伐対象木の選定、2日目がワイゼー測高器・ブルーメライス・バーテックスの使用方法和バーテックスを用いた森林調査、3日目がコンパス測量です。実技研修は、データ集計や製図等の内業も含まれます。

林業は、自然環境を相手にすることから、新規林業就業者には、ソフトウェアを用いれば簡易に出来る部分を、あえて手作業で行うことにより、仕組みを理解いただき、応用が利き、デジタルからアナログが想起できる人になってほしいという思いで教示しました。なお、GPS等を利用したスマートな研修も別途用意されています。



【間伐実習(10日)】



【森林調査実習(11日)】

引続き 2・3年目研修を支援します。



【コンパス測量実習(12日)】

## スマート林業・森林調査講座【初級・GNSS】の開催

林業技術総合センター

【11日(火)12日(水)】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジの主催により宮城県林業技術総合センター(大衡村)にてスマート林業・森林調査講座【初級・GNSS】を開催しました。11日は、「GNSS測定の基礎と実証事業事例」に関する講義、「機器操作・取得データの取扱」に関する実習をしました。

12日は、「デジタルデータ・ツールの活用」に関する講義、「登記所備付地図データやスマホアプリ、GISソフト」を活用した境界確認実習を実施しました。

今後も研修生のニーズに応じた参加型の研修を実施していきます。



【登記所備付地図データによる境界確認実習】

## 森林・林業デジタルリテラシー向上研修の開催

林業技術総合センター

【28日(金)】

宮城県林業技術総合センターの主催により宮城県林業技術総合センター(大衡村)にて森林・林業デジタルリテラシー向上研修を開催しました。本研修は、デジタルデータやICT機器等の利活用ができ、導入の効果や問題点等を検討することができる人材の確保・育成を図ることを目的としています。今回は、一般社団法人日本森林技術協会大萱氏を講師にお招きし、「これからの森林GISの使い方」「森林資源量情報の更新方法」「航空レーザ計測等による森林資源データに関する標準仕様」などについて、講義・意見交換を実施



【研修風景】

しました。  
対面参加・WEB参加による様々な年齢や役職、担当業務の参加者同士により活発な意見交換が行われ、課題や気づきを共有することができました。